



Kawasaki Robotics e-News はカワサキロボットのお客様に有益な情報やホットな話題を提供する隔月の電子情報誌です。

新年のご挨拶



新年おめでとうございます。

人とロボットが協調、共存できる時代の幕開けにより、ロボットが身近な存在となる社会の実現が期待されています。また物とインターネットをつなぐIoTの普及により、第4次産業革命「インダストリー4.0」と呼ばれる変革の波は急ピッチで押し寄せています。さまざまな分野の技術進歩がこのような変革の波を引き起こし、産業用ロボットの利活用分野が大きく広がることが期待されています。

昨年、私たちは、中国蘇州のロボット専用工場が本格稼働し、中国重慶にラインビルダー合弁会社を設立、インドに拠点を設立、新製品として双腕スカラロボット”duAro”デュアロ、超重可搬・高剛性ロボットMGシリーズ等を発表しました。また株式会社メディカロイドに増資を行い、手術支援ロボットの製品化に着手しました。

手しました。

本年はこれら布石により更に飛躍してまいりますので、どうぞ皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。
(川崎重工業 執行役員、ロボットビジネスセンター長 橋本 康彦)

国際ロボット展来場の御礼

昨年12月2日(水)～5日(土)東京ビッグサイトで開催されましたロボット展では、カワサキブースに多数ご来場いただきありがとうございました。今回の出展は人との共存・協調をテーマ

に、人共存可能な双腕スカラロボット”duAro”デュアロによるさまざまなアプリケーションをご覧いただきました。また他にも、車体ボディのFSJ(摩擦撹拌接合溶接)や最新の塗装ロボット及びそれらによる自動車ボディのプロジェクションマッピング、IoT関連では、ロボットの状態監視を行いトラブルの発生を未然に防ぎ、ダウンタイム“ゼロ”を目指すTREND Managerをはじめとする新メンテナンスサービス(K-COMMIT)等、カワサキロボットの最新技術や取組をご紹介しますことができました。ご関心、ご質問等あればお気軽に最寄りの営業までお問い合わせお願いいたします。



インド拠点の開設

昨年9月に Kawasaki India Robot Division が設置され、11

月よりデリー近郊のグルガオンに事務所を開設しました。11月18日に開所式をとり行い、現在は日本人4名、ローカルスタッフ15名で実務を開始しております。経済発展が著しいインドの中の最大工業地域の一つである、グルガオンを本拠地にインド全土にロボットビジネスを展開していきます。カワサキロボットの最も新しい海外拠点として、インドの発展とともに成長していきたいと思っておりますので、皆様のご支援を宜しくお願いいたします。



川崎重工業(株)ロボットビジネスセンター

〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1-1
電話 (078)921-2946 Fax (078)923-6548

《国内営業問合せ先》

関東・東北地区 (03)3435-6852 中部・北陸地区 (0561)63-6800
関西・四国地区 (078)360-8660 中国・九州地区 (082)286-1711



URL: <https://robotics.kawasaki.com/>